

環境リテラシ(Environmental Literacy)		1 年・後期・1 単位・必修 電気工学科・担当 藤田直幸	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (2)			
〔講義の目的〕 電気・電子技術は、便利な世の中を作ることに貢献してきた。しかし、これからは、便利さだけではなく、環境に配慮した技術が重要となってくる。そのような背景の中、技術者には環境問題に対する理解が必要となっている。そこで、本科目では、電気系エンジニアとして必要な「環境問題の本質の理解」、「環境データを読み解き、未来を予測する力」などを育成し、環境問題に常に興味を払う環境マインドの涵養を目指す。			
〔講義の概要〕 「環境問題に関するディベート」と「2030 年の TV のニュース番組作成」を通じて、学生自らが環境問題に関するデータを収集・整理・分析・発信する作業を行う。これらの活動を通じて、能動的に環境問題にかかわる力を身に付けさせる。			
〔履修上の留意点〕 教員から、直接的な環境問題に対する知識の提供は行わない。教員は、学生が主体的、能動的に学習できるよう環境の構築、助言を行う。そのため、学生自らが積極的に授業に関わる必要がある。また、多くの作業はグループワークで行うため、協力して進めること。			
〔到達目標〕 後期中間試験:環境問題に興味を持ち続ける態度を身につける。 学年末試験:環境問題に興味を持ち続ける態度を身につける。 (断片的な知識の習得が目標ではなく、技術者として必要な環境問題に関わる態度を養成する)			
〔評価方法〕 上記に提示した達成目標をクリアする事を単位認定の原則とする。 ①環境問題の本質の理解に向けて努力したか(学習記録、ディベート、TV 番組) 25%、②環境問題の本質について自分なりの理解ができたか(ディベート学習) 25%、③複数の環境データを読み解く力が付いたか(TV 番組作成学習) 25%、④環境データから自分なりに未来を予測する力が付いたか(TV 番組作成学習) 25%			
〔教科書〕 特になし。			
〔補助教材・参考書〕 環境・循環型社会・生物多様性白書、エネルギー白書、原子力安全白書			
〔関連科目〕 本科目は、電気工学科の全ての科目が関係する。			

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	ガイダンス	講義の目標や進め方、コンピュータシステムの登録 ディベート班分け	
第2週	ディベートで環境問題を学ぶ①	ディベート資料の収集①	
第3週	ディベートで環境問題を学ぶ②	ディベート資料の収集②	
第4週	ディベートで環境問題を学ぶ③	ディベート資料の収集③	
第5週	ディベートで環境問題を学ぶ④	ディベートの実施①	
第6週	ディベートで環境問題を学ぶ⑤	ディベートの実施②	
第7週	ディベートで環境問題を学ぶ⑥	ディベートで学んだことを一般化して、「環境問題の解決に必要な要素」は何かを考える	
第8週	ニュース番組作りで環境問題を学ぶ①	課題についての説明 取り上げることができる材料の提示	
第9週	ニュース番組作りで環境問題を学ぶ②	資料の収集①	
第10週	ニュース番組作りで環境問題を学ぶ③	資料の収集②	
第11週	ニュース番組作りで環境問題を学ぶ④	資料の収集③、資料のまとめ	
第12週	ニュース番組作りで環境問題を学ぶ⑤	シナリオの作成	
第13週	ニュース番組作りで環境問題を学ぶ⑥	ニュース番組撮影	
第14週	ニュース番組作りで環境問題を学ぶ⑦	発表会	
第15週	ニュース番組作りで環境問題を学ぶ⑧	ニュース番組作りで学んだことを整理	

\* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.  
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)